



↑章を受け川添町長と写る森枝氏(左)

★ 森枝氏が叙勲 功績をたたえて

葛輪集落の森枝哲男さんに、長年にわたり議会議員として町の発展に貢献されたことをたたえ旭日単光章が与えられ、2月27日、川添健町長から本人へ伝達されました。

同氏は、昭和58年4月、旧東町議会議員に初当選以来、平成11年4月までの4期16年間にわたり在職しました。この間、同議会文教民生常任委員長や総務常任委員会委員長などの要職を歴任。円滑な議会運営に努力するとともに、勤勉にして実行力に富んだその性格をいかに発揮しました。旧東町の産業の振興や文化、福祉の向上に尽力し、特に漁港整備に力を注ぎました。

同氏は「実績すら残せなかったのに、栄えある勲章をいただいたことは、想像すらしていなかったので驚いた。叙勲は、関係者や町民の皆さんの支援と指導のたまもの。皆に感謝したい」と喜びました。

ツアーで元気おこし

★ 町歩きの達人が魅力を再発見

2月11日、町歩きで長島の魅力を再発見するツアーが指江地内でありました。

ツアーは、県が実施する共生・協働型地域元気おこしモデル事業を活用したもので、町歩きの達人「かごしま探検の会」の東川隆太郎氏を招き、同地区内にある古墳群などを巡り行われました。

同氏は、各名所などにまつわるクイズを参加者に出題するなど、独特な視点で観察し参加者を楽しませました。

ツアーを計画した(公社)北薩法人会長島支部長の京田一則さんは「大変おもしろかった。今後とも継続していければいい」と話しました。



↑巧みな話術を織り交ぜ説明する東川氏(左端)



↑収穫は船と沿岸に別れて行われる

★ 手を掛けた分だけ高品質 ア オサ収穫真ただ中

3月2日、専用の摘み取り機を載せた船に乗り込んだ山下英輝さん(幣串)は、潮の状態を確認しアオサ収穫に向かいました。

「今年は生育が悪くて、例年より収穫量が少ない。でも手塩にかけた分だけ、良質のアオサが収穫できる」と話す山下さんは、毎日のように浜に出かけ、アオサに異変があればすぐに対処し、アオサの成長を見守りました。

収穫後もまた成長を続けるアオサですが、今回で3回目の収穫となる網からは、色濃いアオサが次々と摘み取られました。